

医療だより

市民医療センター

戸田市美女木4-20-1
☎ 421-4114 FAX 421-4218

国際興業バス 西川口～北戸田線

●市民医療センター下車

tocoバス(美笹循環)

●市民医療センター下車



診療科目

●内科、小児科、消化器内科、神経内科、呼吸器内科、整形外科、耳鼻咽喉科
診療科目によっては、診療日が決まっている場合があります

受付時間

- 月曜日 午前8時30分～11時30分、午後2時～5時
- 火～金曜日 午前8時30分～11時30分、午後1時30分～5時
- 土曜日 午前8時30分～11時30分、午後1時30分～4時
- 予防接種：月・水・金曜日(要予約)

休日・平日夜間の診療機関(急患) かかりつけ医を持ち、早めの受診を心掛けましょう

※休日・平日夜間の診療機関は、診療時間内に受け付けを済ませてください

【内科・小児科】 (詳しくは蕨市医師会ホームページをご覧ください)

戸田市休日・平日夜間急患診療所

●蕨市医師会館隣 ☎445-1130
休日診療日 1/1・2・3・5・12・13・19・26、2/2・9・11
休日診療時間 午前9時～正午、午後1時～5時
平日夜間診療月 1月(奇数月)
毎週月～金曜日の平日夜間診療時間
午後7時30分～10時30分 ※休日を除く



蕨市休日・平日夜間急患診療所

●蕨市福祉・児童センター内 ☎431-2611
休日診療日 1/1・2・3・5・12・13・19・26、2/2・9・11
休日診療時間 午前9時～正午、午後1時～5時
平日夜間診療月 2月(偶数月)
毎週月～金曜日の平日夜間診療時間
午後7時30分～10時30分 ※休日を除く



【小児科】 ※平日夜間診療時間のあと

毎週月～金曜日の平日夜間診療時間 午後10時30分～翌朝7時
※受診する場合は、必ず事前に各医療機関に電話でお問い合わせください
月・水・木・金曜日 ●戸田中央総合病院(戸田市本町1-19-3 ☎442-1111)
火曜日 ●済生会川口総合病院(川口市西川口5-11-5 ☎253-1551)

【産婦人科】 診療時間 午前9時～正午、午後1時～5時

※当番医は変更になる場合もあります。受診前に必ず電話でお問い合わせください。受診は急患のみです

1月1日(祝・水)	戸田中央産院 ☎444-1181 戸田市上戸田2-26-3
1月2日(木)	蕨市立病院 ☎432-2277 蕨市北町2-12-18
1月3日(金)	戸田中央産院 ☎444-1181 戸田市上戸田2-26-3
1月5日(日)	蕨市立病院 ☎432-2277 蕨市北町2-12-18
1月12日(日)	飯田クリニック ☎441-2730 蕨市南町2-14-8
1月13日(祝・月)	戸田中央産院 ☎444-1181 戸田市上戸田2-26-3
1月19日(日)	西村レディースクリニック ☎447-5311 戸田市本町3-15-21
1月26日(日)	戸田中央産院 ☎444-1181 戸田市上戸田2-26-3
2月2日(日)	岩沢レディースクリニック ☎445-4103 戸田市本町4-17-28 WINビル301号
2月9日(日)	桜公園クリニック ☎446-3950 戸市新曽南3-12-18
2月11日(祝・火)	蕨市立病院 ☎432-2277 蕨市北町2-12-18

救急電話相談

#7119 ☎048-824-4199 (ダイヤル回線、IP電話、PHS、都県境の地域でご利用の場合)

24時間相談対応 年中無休

年齢を問わず、急な病気(発熱、下痢、嘔吐など)やけがの家庭での対処方法や医療機関の受診の必要性について、看護師が電話で相談に応じます。判断に迷ったときは気軽にご連絡ください。緊急に医療機関の受診が必要なときは、受診可能な医療機関(歯科を除く)を案内します。

※AI救急相談も受け付けています。電話が苦手な人でも気軽に相談できます。県医療整備課ホームページか右のQRコードからご利用ください。この電話相談およびAI救急相談は助言を行うもので、診断や治療を行うものではありません

問い合わせ 埼玉県医療整備課 ☎048-830-3559



県精神科救急情報センター

☎048-723-8699 (ハローキューキュー)

夜間・休日に、精神疾患を有する人や、その家族などからの緊急な精神科医療相談を電話で受け付けています。相談内容から適切な助言を行い、必要に応じて医療機関の紹介を行います(県在住者が対象)。

受付時間 月～金曜日：午後5時～翌朝8時30分、土・日曜日、祝日：午前8時30分～翌朝8時30分
問い合わせ 県立精神保健福祉センター ☎048-723-3333

健康長寿のために フレイル予防

平成30年の日本人の平均寿命は、女性が87.32歳、男性が81.25歳で、いずれも過去最高となりました。

人は年を取ると自然に健康から虚弱へ、そして要介護の段階に進みます。フレイルとは健康と要介護の中間で、身体の衰えだけでなく、精神心理面の衰え、社会性の衰えも相まって自立度が落ちていく状態です。

しかし日常生活の工夫でさまざまな機能を取り戻すことができる時期でもあります。フレイル予防には栄養(タンパク質を中心にバランスよく、水分も十分に、噛む力を維持する口腔ケア)、身体活動(歩く、少しの筋トレ)、社会参加(余暇活動、ボランティア、友達と一緒に過ごす)が推奨されます。

「一年の計は元日にあり」といいます。健康長寿を目標に、できることから始めましょう。

問い合わせ 市民医療センター ☎421-4114